

## 東京湾アンケートについて

## 1．東京湾アンケートの目的

東京湾流域住民は、東京湾をレジャー等の場として利用している他、日常生活の排水を下水処理した後に東京湾に流入させている等、東京湾と密接な関わりを持っているが、東京湾の環境に対する意識、利用状況、行政へのニーズ等については、東京湾流域全域で十分に把握できていない。

本アンケートは、東京湾流域住民に対して、内陸部から沿岸部まで統一したアンケートを実施することにより、東京湾流域全域で上記を明らかにし、行政へのニーズ等をきめ細かく把握することにより、今後の東京湾再生の施策に反映させることを目的とする。

## 2．東京湾流域住民アンケート

- ・ 対象地域：図-1に示す東京湾流域
- ・ 実施期間：平成20年2月～3月
- ・ サンプルング方法：20才以上69才未満の方を3,500名抽出
- ・ アンケート方法：郵送法
- ・ 回収数：672（回収率19.2%）

## 3．東京湾NPOアンケート

- ・ 対象地域：図-1に示す東京湾流域
- ・ 実施期間：平成20年1月
- ・ サンプルング方法  
東京都、千葉県、埼玉県及び神奈川県に登録しているNPOのうち、定款等から東京湾に関係した活動を行っていると思われるNPOを171団体抽出
- ・ アンケート方法：郵送法
- ・ 回収数：46（回収率26.9%）



### 東京湾NPOアンケート

- ・ 回答したNPOの約7割はイベント等の頻度が年1回となっており、活動規模は川、ビーチ、公園等の地域単位が最も多い。また、活動を推進するために必要なことは、活動資金の確保、行政との連携との回答が多い。
- ・ 東京湾の環境問題で深刻だと思うものは、赤潮・富栄養化、青潮・貧酸素水塊の発生、ゴミ問題が多い。
- ・ 東京湾の将来像については、砂浜や干潟などの多くの自然がある海、たくさんの生物が生息する海を望むとの回答が多い。
- ・ 回答したNPOの約7割は行政と連携した取組を行ったことがあり、約8割のNPOが行政と連携した取組を行いたいと考えている。行政と連携した取組の内容は、環境学習・体験学習、事業の立案・計画、各種イベントの運営・管理との回答が多い。